

国立妙高青少年自然の家 森林環境学習 「みどりの学習」

「みどりの学習」とは？

国立妙高青少年自然の家ではSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現を目指し、本事業をESD(持続可能な開発のための教育)と位置づけ、年間を通した森林環境学習「みどりの学習」を行っています。

「みどりの学習」の目的

子供たちが五感を働かせながら「ホンモノ」の自然と関わり、自然の面白さや不思議さに気付いたり、興味関心を高めたりする体験活動をつくり、主体的、対話的で深い学びの実現を目指します。

指導案を見てみたい！
⇒指導用資料の
ページへGO！



事前指導の資料が欲しい！
⇒ガイドマップの
ページへGO！



森の活動

自然の家周辺の森林を活動のフィールドとし、様々な植物や動物と出会い、観察します。時期を変えて活動することで、季節ごとの森の生き物の様子と環境の違いについて学習します。

里山体験活動

自然の家周辺の「里山」を歩き、里山を活用する活動に取り組む中で、里山と人々の生活との関わりや環境保全の大切さ、里山を守る活動について考えます。

源流探険

施設周辺には火砕流堆積物と妙高山から染み出した伏流水が作り出した沢があります。上流に向かって沢を探検し、川の始まりや森林と水の関わり、水辺の生き物などについて調べます。

森のクラフト

森林では形も色も様々な木の枝や葉っぱ、木の実などたくさんの自然物と出会います。自然の素材を使い自由な発想で工作することで、生き物の多様性に触れながら一人一人の創意工夫を活かします。

どんな活動ができるの？
👉体験プログラムの
ページへGO！



もっとくわしく知りたい！
👉リーフレットの
ページへGO！

